

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
小児看護学実習Ⅱ	前後期	3年	必修	1単位	45h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎光楽香織 西宮岳 寺井啓子	kaori.mitsura@tohto.ac.jp		事前にメールで予約する		
授業の概要					
<p>健康障害をもつ小児とのかかわりを通して、成長・発達の上にある小児の特性とその家族を理解する。</p> <p>小児期における対象を理解し、様々な状況にある小児とその家族へ看護を実践するための、基本的な知識・技術・態度を習得することを目的に医療施設にて学ぶ。</p> <p>※この科目は小児科の看護師の実務経験のある教員による授業科目です。</p>					
キーワード	到達目標				
小児看護 成長・発達 健康上の課題 社会資源	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児の成長・発達に応じたかかわりを理解できる。</li> <li>2. 小児の成長・発達に応じた、基本的な生活習慣の確立を理解できる。</li> <li>3. 健康上の課題をもつ小児と家族の看護を理解できる。</li> <li>4. 子どもらしく育つために、保健・医療・福祉・教育などの社会資源がどのように活用されているかを理解できる。</li> <li>5. 看護職を目指す看護学生として責任ある行動がとれる。</li> </ol>				
学習内容					
<p>【実習方法】※詳細は「小児看護学実習Ⅰ・小児看護学実習Ⅱ 実習要項」を参照</p> <p>学内実習も含め病院実習を1週間行う。実習時期、実習場所はグループによって異なる。</p> <p>健康上の課題をもつ小児と家族のかかわりから、小児看護の特徴を学ぶ。</p>					
受講要件					
2年次後期までの必修科目の単位を修得していること					
レポート(実習記録)	態度		合計		
90%	10%		100%		
教員からのメッセージ					
<p>少子高齢社会のなか、次の世代を担う子ども達が健やかに成長発達することは重要です。子どもとその家族に対し、小児看護として何が求められているのかを学んでください。看護学生として子どもとかわるうえで、健康管理は特に重要です。しっかり健康に留意し積極的に学習に取り組むことを期待します。子どもに対して大人としてのモデルになれるよう、言葉遣いや態度にも十分気を付けましょう。</p>					